

平成30年度全国学力・学習状況調査結果(概要)について

学力の状況（函館市の状況）

○ 10教科中5教科で全国平均以上

- ・国語は全国平均以上，算数・数学は下回る
- ・活用に関する問題は，全教科で向上

平均正答率

〈小学校〉

	国語 A	国語 B	算数 A	算数 B	理科
函館市	70.7	54.8	62.6	49.0	59.9
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3
全道	70.1	52.7	62.2	48.7	58.8

〈中学校〉

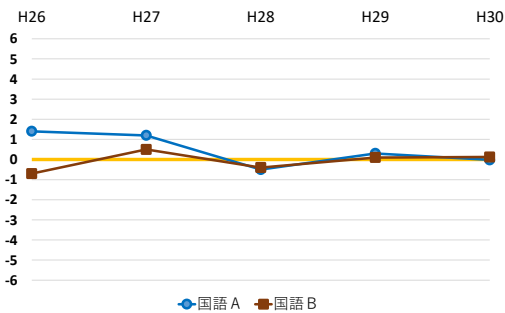
	国語 A	国語 B	数学 A	数学 B	理科
函館市	77.4	61.5	63.6	44.6	66.4
全国	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1
全道	76.6	61.2	64.9	45.8	66.7

※ 青字（小学校：国語 A，国語 B，中学校：国語 A，国語 B，理科）で示した教科は，全国平均と同じまたは全国平均より高い教科

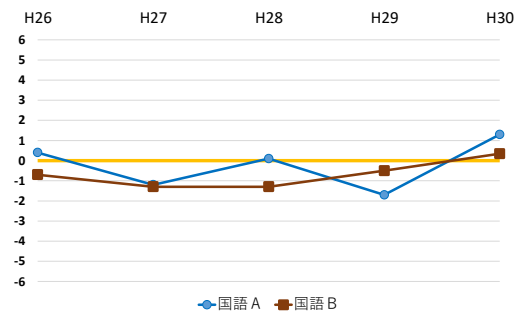
全国正答率の経年変化

※ 黄色ライン（0）は全国平均を表します。

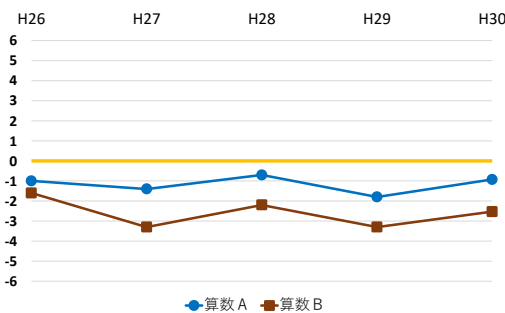
小学校国語 全国平均正答率との差



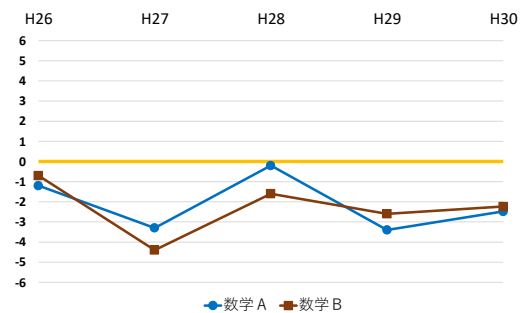
中学校国語 全国平均正答率との差



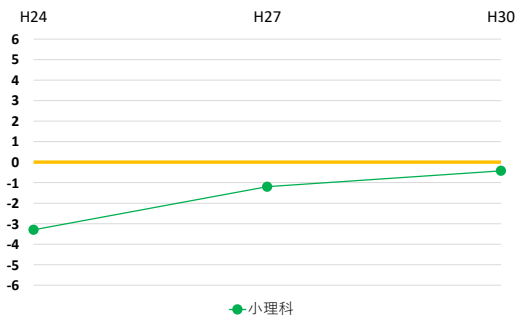
小学校算数 全国平均正答率との差



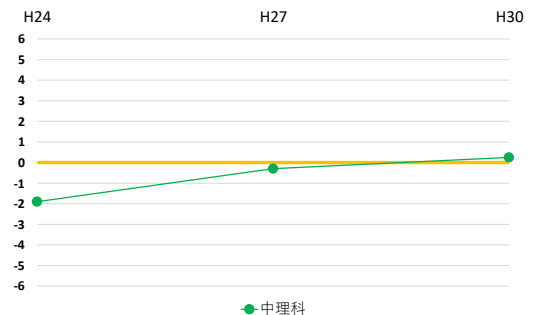
中学校数学 全国平均正答率との差



小学校理科 全国平均正答率との差

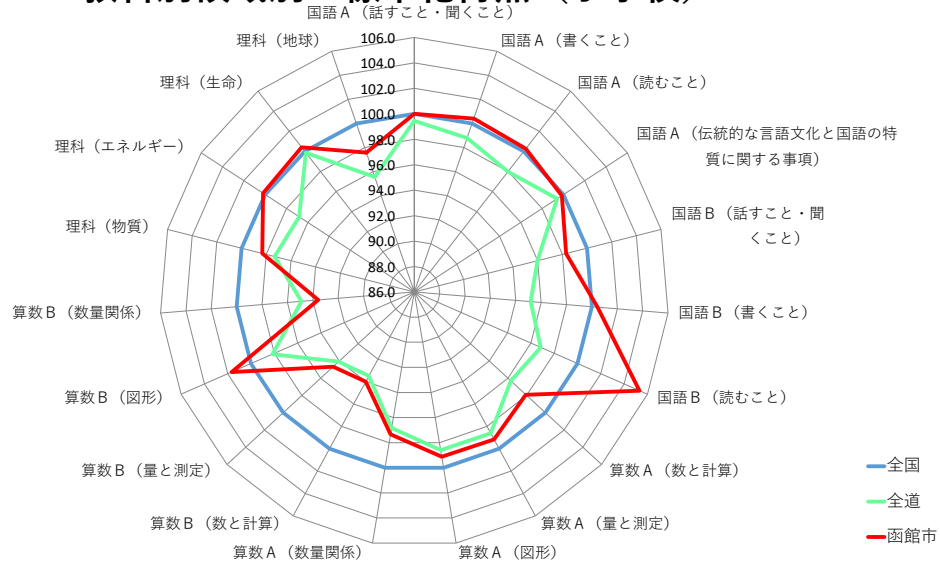


中学校理科 全国平均正答率との差



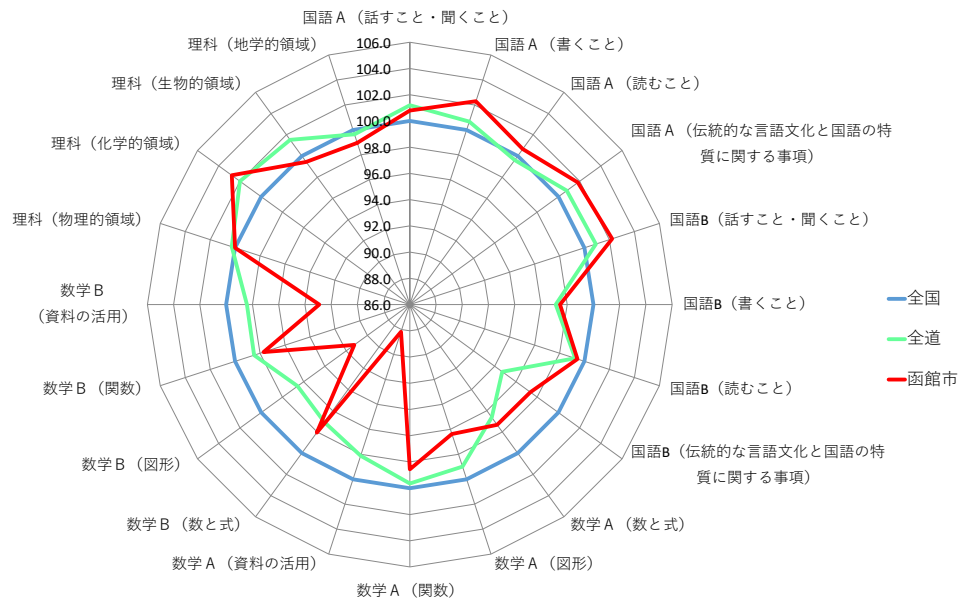
< 小学校 >

教科別領域別 標準化得点 (小学校)



< 中学校 >

教科別領域別 標準化得点 (中学校)



調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

対象学年

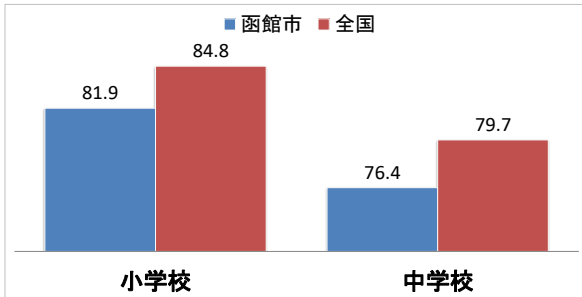
- ・小学校第 6 学年，中学校第 3 学年

調査の内容

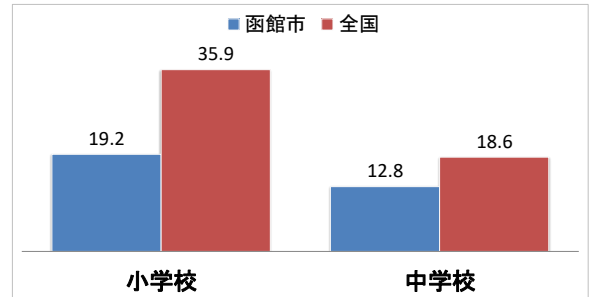
- ・教科 (国語，算数・数学，理科)
 - (A 問題)：主として「知識」に関する問題
 - (B 問題)：主として「活用」に関する問題
- ※ 理科については、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題を一体的に問う。
- ・質問紙
 - 児童生徒に対する調査
 - 学校に対する調査

生活習慣や学習環境等の状況（函館市の状況）

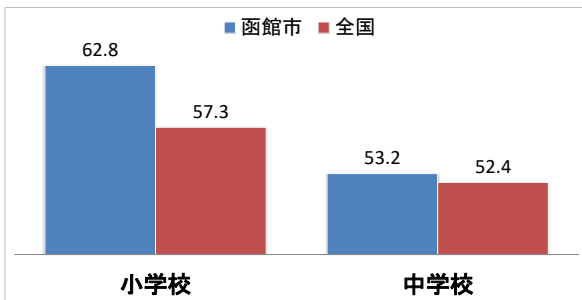
Q 朝食を毎日食べていますか



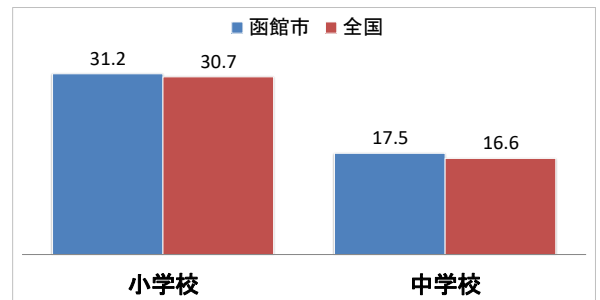
Q 今住んでいる地域の行事に参加していますか



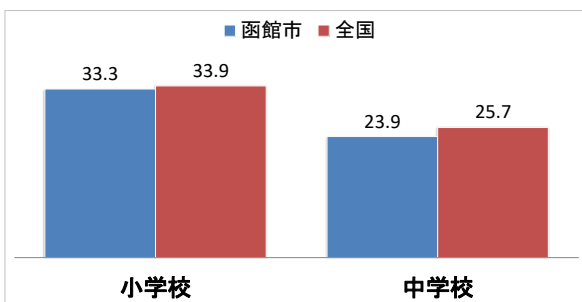
Q テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか



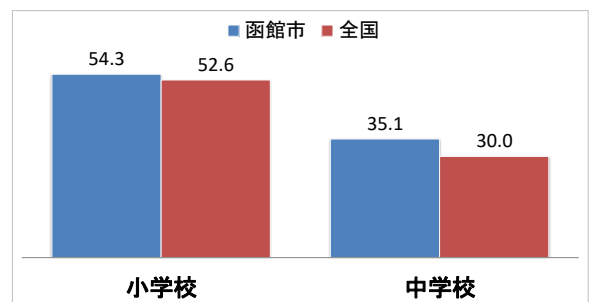
Q 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか



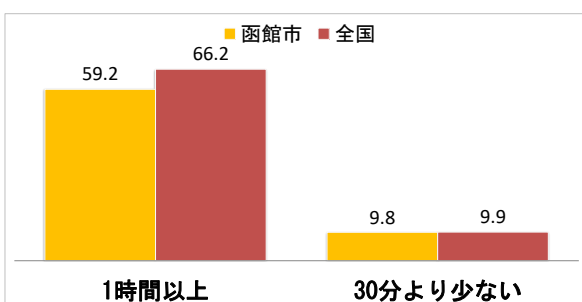
Q 算数・数学の勉強は好きですか



Q 理科の勉強は好きですか



Q 普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（小学生のみ）



Q 普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（中学生のみ）

